

銅賞

水の大切さ

矢野 千咲

小郡市立 東野小学校

わたしたちが食べている、野菜やお米などの食べ物、水が必ず必要です。水があるおかげで私たちは、飲んだり食べたりできています。

もし、世界から水がなくなってしまったら、人は、水を一てきも飲まないで四〜五日で死んでしまいます。しかも、人間に必要な水の量は、一日あたり二リットルと言われています。人間の体の六十〜七十％は水分でできているため、水分をしっかりと取らないと体調不良の原因にもなります。植物や動物も人間と同じように、水を必要とします。なので、世界から水がなくなるとたいへんなことになってしまいます。

わたしは、七月に、宝満川浄化センターを見学しに行きました。宝満川浄化センターでは、地下に流れてきた汚水を、ポンプで水処理施設に送ります。揚水された汚水をゆっくり流し、汚水の中の小さなゴミ（生汚泥）をはずめます。汚水に活性汚泥を加え、空気を吹き込んでよく混ぜ、微生物の働きによって更に汚れを分かいます。汚水と活性汚泥の混合液を流しこみ、活性汚泥をはずめ水をきれいにすることが分かりました。

もう一つわたしは、浄化センターで知ったことがあります。活性汚泥です。活性汚泥とは、有機物質と無機物質を摂取・分かいてできる微

生物によって構成された汚泥です。下水処理場、し尿処理場、浄化槽などで使用されます。活性汚泥がもつ摂取・分かいて能力により、汚水の中に含まれる汚濁物質を除去することができます。また、赤潮の原因にもなる毒素・リンも除去することができることを知りました。

わたしは、こんなにも水が大切なことを知って学校や家で節水に取り組んでいます。学校では、手をあらうときに、水をだしっぱなしにしないようにしています。家では、お風呂のシャワーをだしっぱなしにしないように取り組んでいます。

わたしが、これから取り組みたいことは、水の大切さを他の人に伝えることです。水をだしっぱなしにしないようにしたり、シャワーの水を一回一回止めるようにすることを、友だちや家に伝えていきたいです。

災害の時にも水はとても大事だと、社会の学習で学びました。大切な水を守りながら、災害へのそなえも進めていきたいです。